

計算を始める前に

- 計算を始める前に **[CCE]** を 2 回押して、電卓内部の数値や計算命令をクリアしてください。
 - [GT]** の位置は、特に指定のない場合どこにあってもさしつかえありません。なお、GT 5/4 位置、GT 4 位置のときは **"G"** シンボルが表示することがありますが、以降の計算例の表示では記載を省略しています。
- (「基本計算のしかた」グラントータル計算例は除く)

アンサーチェック(照合)のしかた

- この製品は、前回の計算結果(**[=]**、**[%]** で求めた答)と 2 回目の結果が一致しているかどうかを照合することができます。なお、3 回目の結果は、2 回目の結果と照合されます。

【例】 $120 \times 3652 + 670 - 258 = 438652$ の計算の照合

操作	表示
[F4320A] [0] [GT] [CCE] [CCE]	0
[120] [×]	120
[3652] [+]	438240
[670] [+]	438910
[258] [−]	438652
[=]	=

操作	表示
[CCE] [CCE]	0
120 [×]	
3652 [+]	
670 [+]	
258 [−]	
[=]	=

①～⑤ 前回の計算
⑥～⑧ 2 回目の計算

前回の計算結果と一致したとき表示
(不一致のときは表示しません。)

- 注意: **[CA]** を押すと、前回の計算結果がクリアされ照合はできません。
- マルチ換算、税計算、メモリー計算の値、計算過程での照合はできません。

マルチ換算のしかた

- マルチ換算の専用キー **[A]**、**[B]** を使って、通貨換算・単位換算などを行うことができます。
- マルチ換算を行うときには、まず換算レートの設定 / 確認をします。
- 換算レートは、6 桁の範囲で設定(または変更)できます。(小数点は 1 桁と数えません。)
- 設定した換算レートは、変更するまで記憶されています。ただし、電池の消耗(「電池交換の時期」参照)などで設定した換算レートが変化することがあります。ご使用前に換算レートを確認してください。

換算レート設定

【例】換算レート(1 ドル=123.45 円)を設定する。

操作	表示
[CCE] [CCE]	0
換算レート設定 123.45 [A] [GT]	12345
換算レート設定 [=]	=

【例】通貨換算

120 ドルを円に換算する。(換算レート(1 ドル=123.45 円)が設定されているとき)

操作	表示
[F4320A] [0] [CCE] [CCE]	0
120	120
[A]	14814

換算レート確認

【例】換算レートを確認する。

操作	表示
[CCE] [CCE]	0
換算レート設定 39.3701 [A] [GT]	393701
換算レート設定 [=]	=

【例】単位換算

換算レート(1 メートル=39.3701 インチ)を設定し、472.4412 インチをメートルに換算する。

操作	表示
[CCE] [CCE]	0
換算レート設定 39.3701 [A] [GT]	393701
換算レート設定 [=]	=
[F4320A] [0] 472.4412	4724412
[B]	12

電源について

この製品は「リチウム電池」と光を電気に変える「太陽電池」の 2 つの電源方式(ツインパワー)を採用しています。この 2 つの電源方式により、通常は太陽電池で動作し、使用中に光がささげられても、リチウム電池により計算内容などを保護します。

電池の使用上のご注意

冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより電卓を傷めることがあります。
- 最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに、寿命が切れることがあります。

電池交換の時期

暗い場所で使用しているとき、次のような現象が現れたら新しい電池と交換してください。

- 正面から見た表示が薄くて見にくい。
- 自動節電機能(オートパワーオフ機能)が働いて表示が消えているとき、**[ON]** または **[CA]** を押しても何も表示しない。

電池交換のしかた

使用する電池はリチウム電池(CR2032)1 個です。

ご注意: 電池交換をすると、設定していた換算レートや税率、メモリー(グラントータルメモリー含む)の内容が変化・消失する場合があります。



電池を交換したら

- [ON]** **[CA]** と押し、液晶表示部に "a" が表示されることを確認してください。もし、"a" が表示されない場合は、もう一度電池を取り外して入れ直し、再度表示を確認してください。(光が太陽電池部に当たらないようにささぎった状態で確認してください。)
- [CCE]** **[CCE]** **[換算レート確認]** と押しして換算レートを、**[CCE]** **[CCE]** **[税率確認]** と押しして税率を確認してください。もし換算レート、税率が変化・消失している場合は、再度設定し直してください。(「マルチ換算のしかた」、「税率のしかた」参照)

お客様ご相談窓口のご案内

◆ 修理を依頼されるときは

仕様および使用上のご注意に従った正常な使用状態で、故障した場合には、修理ご相談窓口にて修理をお申しつけください。保証期間中(お買いあげの日から 1 年間)は、無料で修理または同等品と交換させていただきます。

★ 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷
- (ロ) お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷
- (ハ) 過酷な使用による故障・損傷
- (ニ) 火災・地震および風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障・損傷
- (ホ) 電池の液もれによる故障・損傷
- (ヘ) 消耗品(リチウム電池)が損耗し取り替えを要する場合

◆ 修理ご相談窓口

修理は、(電卓)消費者相談係に郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お買いあげ年月日および販売店名(または、贈答品)、故障内容などを記入のうえ製品を郵送してください。(送料はお客様負担)

〒 639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町 492 シャープ株式会社 情報通信事業本部 (電卓) 消費者相談係 電話 0570-05-0892 (当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。呼出音の前に NTT より通話料金の目安をお知らせいたします。) (注) 携帯電話・PHS からは、下記の番号をご利用ください。 一般電話 (0743) 55-0892
--

◆ 一般ご相談窓口

この製品についてのご意見、ご質問は、相談室へお申しつけください。

お客様相談センター
0120-303-909

フリーダイヤルがご利用いただけない場合は
東日本相談室 (043) 351-1822
西日本相談室 (06) 6792-1583

- 電話番号をよくお確かめのうえおかけください。
- 電話番号などは変わることがあります。その節はご容赦願います。

税計算のしかた

税計算の専用キー **[税込]**、**[税抜]** を使って、税込額、税抜額、税額を求めることができます。

- 税計算を行うときには、まず税率の設定 / 確認をします。
- 税率は、4 桁の範囲で設定(または変更)できます。(小数点は 1 桁と数えません。)
- 設定した税率は、変更するまで記憶されています。ただし、電池の消耗(「電池交換の時期」参照)などで設定した税率が変化することがあります。ご使用前に税率を確認してください。

税率の設定

【例】税率を 5% に設定する。

操作	表示
[CCE] [CCE]	0
税率設定 5 税率設定	5
[=]	=

税込計算

【例】800 円の税込額、税額を求める。(税率: 5%)

操作	表示
[F4320A] [0] [CCE] [CCE]	0
800	800
[税込]	840
[税抜]	40

税率の確認

【例】税率を確認する。(税率: 5%)

操作	表示
[CCE] [CCE]	0
税率確認	5

税抜計算

【例】税込表示額が 840 円の商品と 525 円の商品の合計額、税抜額、税額を求める。(税率: 5%)

操作	表示
[F4320A] [0] [CCE] [CCE]	0
840 [+] 525 [=]	1365
[税抜]	1300
[税抜]	65

基本計算のしかた

- 実際には **[=]**、**[+]**、**[−]**、**[×]**、**[÷]** のシンボルが表示されますが、この計算例の表示では記載を省略しています。

計算例	操作	表示
	[F4320A] [0] [CCE] [CCE]	0
$(-24 + 2) \div 4 = -5.5$	[−] 24 [+] 2 [÷] 4 [=]	-5.5
$13 \times (-4) \div 2 = -26$	13 [×] 4 [+] [−] 2 [=]	-26
$34 + 57 = 91$	34 [+] 57 [=]	91
$45 + 57 = 102$	45 [+] 57 [=]	102
$38 - 26 = 12$	38 [−] 26 [=]	12
$35 - 26 = 9$	35 [−] 26 [=]	9
$68 \times 25 = 1700$	68 [×] 25 [=]	1700
$68 \times 40 = 2720$	68 [×] 40 [=]	2720
$35 \div 14 = 2.5$	35 [÷] 14 [=]	2.5
$98 \div 14 = 7$	98 [÷] 14 [=]	7
$200 \times 10\% = 20$	200 [×] 10 [%]	20
$(9 \div 36) \times 100 = 25$	9 [÷] 36 [%]	25
$200 + (200 \times 10\%) = 220$	200 [+] 10 [%]	220
$4^6 = (4^3)^2 = 4096$	4 [×] [=] [=] [×] [=]	4096
$\sqrt{25 - 9} = 4$	25 [−] 9 [√]	4
$1 \div 8 = 0.125$	8 [÷] [=]	0.125
$25 \times 5 = 125$	[RCM] [RCM] ← 計算の前に	
$-) 84 \div 3 = 28$	25 [×] 5 [M+] ← メモリーをクリアします。	M 125
$+) 68 + 17 = 85$	84 [÷] 3 [M−] [M+] 、 [M−] は [=] の	M 28
$\frac{182}{182}$	68 [+] 17 [M+] ← はたらきもかねています。	M 85
	[RCM]	M 182
	[RCM]	M 182
$23.5 + 42.3 = 65.8$	[F4320A] [0] [GT] [GT] ← 計算の前にグラントータルメモリーをクリアします。	G 65.80
$72.4 - 37.321 + 12 = 47.08$ (47.079*)	23.5 [+] 42.3 [=]	G 47.08
$+) 27 - 19 - 21.61 = -13.61$	72.4 [−] 37.321 [+] 12 [=]	G -13.61
99.27	27 [−] 19 [−] 21.61 [=]	G 99.27
* 小数第 3 位を四捨五入します。	[GT]	G 99.27
	[GT]	G 99.27
$\$1.45$ (1 ドル 45 セント)	[F4320A] [0]	1.45
$\$45.00$ (45 ドル)	145 [+]	46.45
$- \$7.63$ (7 ドル 63 セント)	4500 [−]	38.82
(計) \$38.82 (38 ドル 82 セント)	763 [=]	

入力訂正のしかた

誤	正	訂正操作	表示
2 + 3	→ 2 + 4 = 6	2 [+] 3 [CCE] (または [←]) 4 [=]	6
5 × 2	→ 5 ÷ 2 = 2.5	5 [×] [÷] 2 [=]	2.5
123456	→ 123478	123456 [→] [→] 78	123478

エラーについて

次の場合はエラーとなり、**"E"** シンボルを表示します。このときは **[CCE]** でエラーを解除してください。

(③および⑦の場合は、**[←]** でも解除できます。)

- 負数の平方根を求めたとき 【例】: 5 **[+]** **[√]**
- 除数が 0 の除算を行ったとき 【例】: 5 **[÷]** 0 **[=]**
- 整数部を 13 桁 (EL-N731: 11 桁) 以上入力したとき
- メモリーまたはグラントータルメモリーの数値の整数部が 12 桁 (EL-N731: 10 桁) を超えたとき

(エラー解除後、メモリー内部の数値をクリアしたいときは **[RCM]** を 2 回、グラントータルメモリーは **[GT]** を 2 回押します。)

- マルチ換算で求めた換算結果の整数部が 12 桁 (EL-N731: 10 桁) を超えたとき
- 税計算で求めた計算の結果あるいは途中結果の整数部が 12 桁 (EL-N731: 10 桁) を超えたとき
- 計算結果の整数部が 13 ~ 24 桁 (EL-N731: 11 ~ 20 桁) になったとき: 概算

【例】: EL-N732	[F4320A] [0]	【例】: EL-N731	[F4320A] [0]
987654320988 [÷]	E	9876543212 [÷]	E
0.444 [×] →	2.22444666889	0.444 [×] →	2.224446669
エラー解除 [CCE] →	2.22444666889	エラー解除 [CCE] →	2.224446669
555 [=] →	= 1234.56790123	555 [=] →	= 1234.567901
	↑		↑
兆の位 (概数 1234 兆 5679 億 123 万)		百億の位 (概数 12 兆 3456 億 7901 万)	

ご注意: 計算結果の整数部が 25 桁 (EL-N731: 21 桁) になった場合、概算はできません。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は電卓の補修用性能部品を製造打切後 5 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 修理にかえ製品と交換させていただく場合は、お買いあげいただいた製品と同一品または同等品との交換になります。(保証期間経過後は、ご要望により有料交換いたします。)

シャープ電卓ホームページのご案内

- ホームページでも、くわしく商品をご紹介します。
<http://www.sharp.co.jp/cal/>

修理メモ
